

Title: 「Slow letter」



君島 佳弘
1987年栃木県生まれ。FW帰国からもう2年たちます。旅に出たい。ほんと笑

Slow letter > 2007年06月 アーカイブ

07.06.24

「やまなし」

[Tweet](#)

[Check](#)

「いい天気だけど、いつもより厳しい暑さじゃないなあっ」
っていう、そんな日でした。

いつものように村の中を歩いていると、
とてもいい景色の田園地帯を見つけました。



ーこのバツクなんていうんだろう？

そして、

葱きこまれて入っていったさきの畦道で、
天然の水路を発見しました。

「ーすげーきれいだなあ」



● 最近のエントリー

- ☑ 「やまなし」
(2007.06.24)
- ☑ インドの農村
(2007.06.23)
- ☑ From BODH GAYA
(2007.06.23)
- ☑ インドで考えたこと
(2007.06.20)

● アーカイブ

- ☑ 2009年12月
- ☑ 2009年09月
- ☑ 2009年04月
- ☑ 2009年03月
- ☑ 2008年09月
- ☑ 2008年07月
- ☑ 2008年06月
- ☑ 2008年05月
- ☑ 2008年04月
- ☑ 2008年03月
- ☑ 2008年02月
- ☑ 2008年01月
- ☑ 2007年12月
- ☑ 2007年11月
- ☑ 2007年10月
- ☑ 2007年09月
- ☑ 2007年08月
- ☑ 2007年07月
- ☑ 2007年06月
- ☑ 2007年05月
- ☑ 2007年04月
- ☑ 2007年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

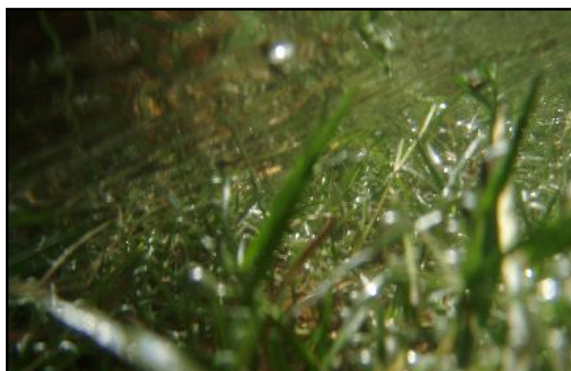
OLYMPUS

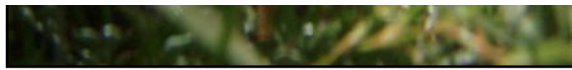
Your Vision, Our Future

RSS 2.0



思い出したのは、小学校のころ国語の教科書に載っていた
「やまなし」という童話。
「クラムボンほ〜」っていう沢がにの話です。
・・・！
おっ、そうさそうだ！





おーっ、
本当に沢がにやめだかが見ている感じの景色！なのかな？

初めて使ってみた「水中スナップ」モード。う〜ん、これは感動ものだな。
なんとなく小笠原でグリーン・ベベという光るきのこを見た時の感じに
似ていました。ーすごいゾリンバス！



ー今日の最高は40℃くらいでした。でも、気温のわりに動きやすかったな。



今日は歩いたなあ〜。

カテゴリ：

post by 君島 佳弘 | 日時: 2007.06.24 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Slow letter](#) > 2007年06月 アーカイブ

07.06.23

インドの農村

[Tweet](#)

[Check](#)

ー ネーランジャラー川 ー



インドの農村は、
・・・
良いところなんだけど、
正直、なんだかとても疲れるところ。
疲れてしまう ところ。

そりゃあ、自分のせいで
申し訳ないんだけど

何がつかいかって、
一番は、子供たちの声ー。
村の中を歩いていると、
家の影から 丘の上から
ハロー、ハロー、ハローハロー
ハローハローハローハロー と
声が集まってきて、
「Where are you go !」
「Come here」
「Pen, Book !」 「Chocolate !」
なんて言ってくる。

バラナシの町の喧騒の疲れもあったのか、
会うなりいきなり「10Rs, 10Rs !」といわれた日は、
宿に帰るころにはへとへとになっていた。

また、時には「学校へ行くお金がない」など切実な
相談もされる。怪我している指を見せられても、
・・・今の自分にはどうしようもできない。

・・・うへん。

たとえば、
クーデルカ (一年生のとき鈴木先生の授業で習った、
ジブシーの人たちの生活取材している写真家です。)
なんかも、子供たちにお金お金って言われたのかな？
「どういもんかなあ」って へこんだりしたのかな？

今は、写真撮ることしかしていないけれど、
地域学者の先生が言ってくれたように、
会って話した人たちのことを大切に覚えておくしかないのかな。



カテゴリ：

post by 君島 佳弘 | 日時: 2007.06.23 | [パーマリンク](#) | [コメント \(5\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Slow letter](#) > 2007年06月 アーカイブ

From BODH GAYA

[Tweet](#)

[Check](#)

夜中4時、沢山の犬がたむろする
ーほんとに怖かったー
真っ暗闇のバラナシのガートをぬけ、
ボドガヤ(Bodh Gaya)という町へやって来ました。
通称、ブッダガヤ。シッタールタが悟りを開き、ブッダ(覚った者)と
なった場所、仏教の聖地といわれる土地。
自分は、そのボドガヤの町に滞在しながら
セーナーという隣の村で撮影を行います。
昨日は
いつも通り、とりあえずとロケハンに向いました。



荷物はこれだけにして っと



マーハボディ寺院の横を過っていきます。



サイクルにも馬にも乗らず(ロバかな?)、とにかく歩いていきました。



ネーランジャラー川。この川を境に、村へと入ります。



—ここら辺からかな？



とてものんびりした雰囲気です。



日陰に入ると結構涼しい。



一村の人たちです。



釣りをやらせてもらいました。





神様の池って言ってたけど、大丈夫なのかな？



テーマ撮影の関係で、どうしても土壁に目がいきます。



—五十嵐先生に負けじと—
この日の最高気温は42℃。
でも、・・・暑いなあと思っていたら
・・・





なんとちょうど rainy season の幕開けらしく、ものすごい雷雨が降ってきてしまいました。



—もう少し弱まったら、しかたがないけど帰るかなあ。

ちょっと文がだらけてきているのですが、こんな日でした。

—おまけに—



上の写真は「スジャータ ライス ブディング」という名前の、おそらくスジャータの乳粥をイメージして作ったのであろう一品。マーハボディ寺院前のShiva というレストランで食べたんだけど、牛乳とご飯が絶妙に合っていて、不思議な味だったけどおいしかった。

インドは食べ物おいしい！タイとマレーシアとあわせて、多分今のところ1位かな。なんといっても柱がカレーと乳製品だからね。

カテゴリ：

post by 君島 佳弘 | 日時: 2007.06.23 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Slow letter](#) > 2007年06月 アーカイブ

07.06.20

インドで考えたこと

[Tweet](#)

[Check](#)

堀田善衛さん、椎名誠さん、そしてたくさんの人たちがそうしたように、インドで自分も考えた。というより考えさせられる。

そりゃあ、常識が、根本か、それに近いあたりから違うから考えさせられるんだろうな と思う。

半分を過ぎたインド、—やっぱりいろいろ疲れるけれど 笑 なんだかすごいところです。たぶん、良いところ。

そして、書いたり写真をいろいろ載せたりしようと思ったのですが、「I'm sorry,Don't use.」ということらしいので、今日はこれから調べものを始めようと思います。

カテゴリ：

post by 君島 佳弘 | 日時: 2007.06.20 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

07.06.10

KORKATA to BARANASI

[Tweet](#)[Check](#)

名物だという
 黄色いタクシーに乗り
 人力のリクシャーに乗り
 あまり知らないけれど、
 ラビンドラナート・タゴールの
 資料館に行き
 コルカタの一日が過ぎ

うわー、汽車が来た って
 言ってしまったくらい
 それは物語の中の面持ちで
 暗闇の中
 時間通りに寝台列車がやってきて

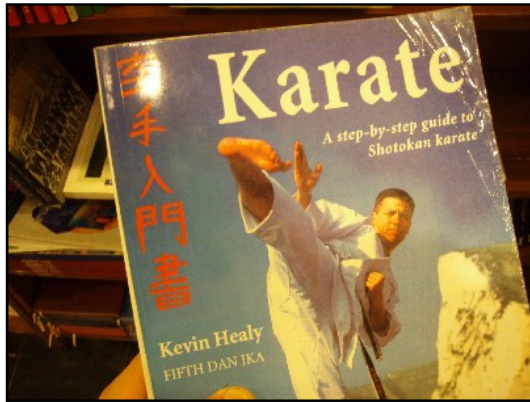
本当に窮屈な寝台の上
 気がついたら
 ガンジス河の上にかかる
 鉄橋にいたり、

素直なくらいしっかり
 ぼろうとしてくる
 おじさんを選び
 今度は自転車のリクシャーに乗り、

ダシャーシュワメード・ガート近く、
 ガンジス河に臨む
 Shiva Guest House という
 宿に到着した。

ー 現在の気温は36度。
 くわー、・・・疲れた・・・。





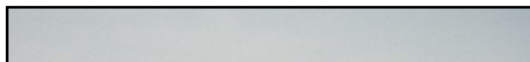
本屋で立ち読みをしていました。
(写真は違うけどマッカリーの写真集がおいてありました。)

！しっかりバッテリーの充電をしていなく、列車に乗る前に・・・



久しぶりに洗濯をしました。

— Shiva Guest House —



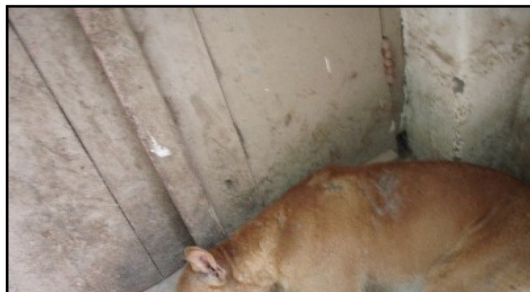


屋上からはガンジス河と、バラナシ市街が一望できます。
ガンジス河は、ガンガーというより河?の印象です。

そして食事もかねてガートの散策へ・・・



せまい路地の中、





人と一緒に牛やイヌがふらふらしています。

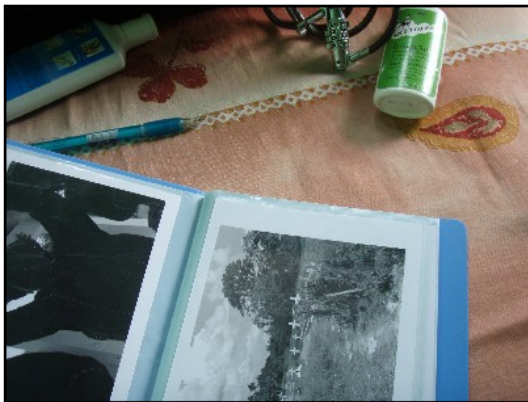


ガートの中のレストランでチャイを飲んでみました。



- 36℃ってことは、まだまだ低いほうなのかな。

バラナシでも
やっぱり人々からは
深い力強さと
寛容さを持った優しさが感じられ、
それは初めての遭遇で、
ちゃんとカメラを向けられるようになるには
時間と勇気が必要になりそうです。



明日は、ほとんど長坂先生に編集してもらったポートフォリオを手に
バナールス・ヒンドゥー大学へ行ってきます。

カテゴリ:

post by 君島 佳弘 | 日時: 2007.06.10 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Slow letter](#) > 2007年06月 アーカイブ

07.06.09

It is first time.

[Tweet](#)

[Check](#)

- 「At first? Korkata ?」
- 「Yes. It is first Time ! あーっと、India」
と。

本当に初めてなもので、
はじめてインドのまちや人に
少しそわそわする感じを抱き、
路上でお金お渡すべきかということにも
どうしたらいいのかわからず。
まだ少しも消化できていません。インド。

—

今日は夜中の3時に宿を出て、
パラナシへと向かうための経由地、
コルカタへとやってきました。

結構湿度が高く、気温以上に暑い気がします。

カテゴリ：

post by 君島 佳弘 | 日時: 2007.06.09 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[Slow letter](#) > 2007年06月 アーカイブ

07.06.07

2回目の旅立ち前

[Tweet](#)

[Check](#)

そっか、
もう今日なんだ。

五十嵐先生に
「去年もこんな感じだったな」と
言われ、
じゃあ と、
「あと5時間でバスが来ます」
って

思いのほか
どたばたしている
2回目の旅立ち前

そっか

もうインドなんだ

さっき
はたけとも話したんだけど

出発前からみれば
それはもう
旅も終わりに近いイメージとして
あったものなのにー。

今日、
電車に乗ってKLCCにある
紀伊国屋まで行ってきた。

買ってきたのは、
「ヒンドゥー教」という
ヒンドゥー教についての本。

正直言って、
ヒンドゥー教、そしてインドの暮らし
について全く知っていません。
なにせ、「ウ」の字を正しく
小さく出来ていません。

なのに、
なにかを見てみたい、撮らえたい
などと言って、
時間を使って
地方の方まで出かけてこうとしています。

スクーリングの授業の中で、
鈴木先生が
「必ずになって相手を理解しようと
することが大切なんだ。」
と言ってくれました

直接言われたわけでは
なかったのだけれど、
とても
胸が痛む感じがしました。

自分の本気で
そう思っているのかな と。

だから、

—なぜ？
って言われると
まだしっかり答えられないけれど

出来る限り頑張って
理解しようと
たくさん見ようと していきたい。

知識だけに
なってしまうのは
いけないけれど、
やっぱり少しでも
知ろうとしていきたい。

ほんとに貴重な時間だぞ！ って

撮影に行くときなんかは、
そのときは、
思いっきり深呼吸からしていけば
とりあえず問題ない。

見ようとしないと
見るのは難しい。

のかな？
わかんないな。

とりあえず、
思いっきり深呼吸して
思いっきり頑張ってこようと思う
2回目の旅立ち前。

五十嵐先生の部屋からは
陽気な音楽が流れてきています。



ヨンダと気に入っている写真と

[続きを読む "2回目の旅立ち前" »](#)

カテゴリ：

post by 君島 佳弘 | 日時: 2007.06.07 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)